

■ 産品自慢 —— Vol.12 鹿児島県 薩摩川内市入来町

おおまごえ 大馬越「しそっぷ物語」

鹿児島県北西部に位置する薩摩川内市入来町では、約350世帯の小さな地区・大馬越地区がコミュニティ協議会を形成し、活気ある郷を目指して頑張っています。

そんな大馬越地区コミュニティ協議会は、平成18年度から地区の休耕田を利用したシソジュースづくりに取り組んでいます。平成19年には「しそっぷ物語」として、赤シソ・青シソ・ブレンドの3種類を製造し、本格的な販売を始めました。水やソーダ割り、かき氷のシロップとして宣伝し、販売したところ、地元直売

所や口コミによる地方発送で、8月の終わりには用意した1500本が完売となりました。今年も協議会のシソ畑では、3月に蒔いた種が、5月に発芽し、青空の下で成長し始めています。

「しそっぷ物語」は、田起こしから整地・種まき・草取り・収穫・加工・ラベル張りまで、地区民の力と愛情によって誕生した100%大馬越産です。ミネラルウォーターとして定評のある入来の銘水を使い、シソの爽やかな香りとさっぱりした味が特徴です。昨年平成19年には、薩摩川内市ふるさと特産品コンクールで「特産品協会長賞」を受賞しました。

大馬越地区コミュニティ協議会の活動はさまざまところへ広がりを見せています。昨年は退職者グループが大豆の栽培を始めると、大豆の学習会が大馬越地区コミュニティ協議会内で始まり、豆腐づくりへと発展しました。まだ月2回、地元限定での販売ですが、今後は「まごえのおかべ（おかべとは豆腐の別名）」として本格的に販売する予定です。大馬越地区コミュニティ協議会では、安心して安全な素材にこだわった「しそっぷ物語」や豆腐などの取り組みを協議会のブログで随時発信・紹介しています。



和気あいあいとした連帯感の中、住民たちの知恵が光る。



しそっぷ物語

今後も団塊世代の退職者や高齢者が生きがいを持てる地域になるように。また、世代間を超えて子どもたちも一緒に楽しめるように。人の輪を広げる活動が注目されます。この物語の続きは、<http://www.oomago.com/comicen> まで(^^)。

お問い合わせ先
大馬越地区コミュニティ協議会
TEL&FAX 0996-44-2773